

## Ⅱ-2 トラム走行空間事例

### (1) ドイツ・フライブルク

国名・都市名	ドイツ・フライブルク	交通機関	トラム
概要	<p><b>【都市概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーデン・ヴュルテンブルク州（州都：シュツットガルト）、人口約 20 万人（都市圏人口 50 万人）、市域面積 153km<sup>2</sup>、人口密度 1,288 人/ km<sup>2</sup></li> <li>・ミュンスターを中心とした中心市街地の 700m 四方のエリアは、1973 年自動車の乗り入れが禁止。環状道路は、片側 1 車線が自転車専用、1 車線がバスレーン、1 車線が自動車となっている。</li> <li>・路面電車は環境重視の都市交通政策を進めるフライブルクのシンボルという位置づけ。戦後モータリゼーションの進展により路線の廃止が相次ぎ、路線規模が縮小されたが、1970 年代のヴィールの原子力発電所建設反対運動を契機に、市民の環境への意識が高まり、環境重視の交通計画が進められるようになった。</li> <li>・環境重視の交通計画：路面電車の存続と延伸によって公共交通の利便性を向上させると共に、自転車道路網を整備して自転車の利用を増やし、併せて旧市街への自動車の乗り入れを規制することで、自動車への依存を減らす。</li> </ul> <p><b>【路面電車関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面電車の延伸：1983 年以降、ドイツ鉄道の中央駅を高架で越えて宅地化の進む市西部で順次実施。延伸区間では軌道と道路を分離し、主要道路との交差部分は電車優先信号にする。自動車での来街者には、都心から離れた場所で車から路面電車に乗り換えられるようパーク＆ライド駐車場を整備（8 箇所、1750 台）。</li> <li>・運行：VAG（Freigurger Verkehrs AG）（フライブルク市が 100% 出資するフライブルク都市公社の傘下）</li> <li>・環境定期券（現 Regop-Karte）の導入：運賃の大幅割引、無記名の持参人方式</li> <li>・効果：フライブルク都市圏での総トリップ数は、1976 年から 1996 年までの 20 年間で 40% 増。自動車のトリップ数は横ばい。分担率は 60% から 43% に低下。公共交通分担率は 18% から 29% に増加。</li> </ul>		

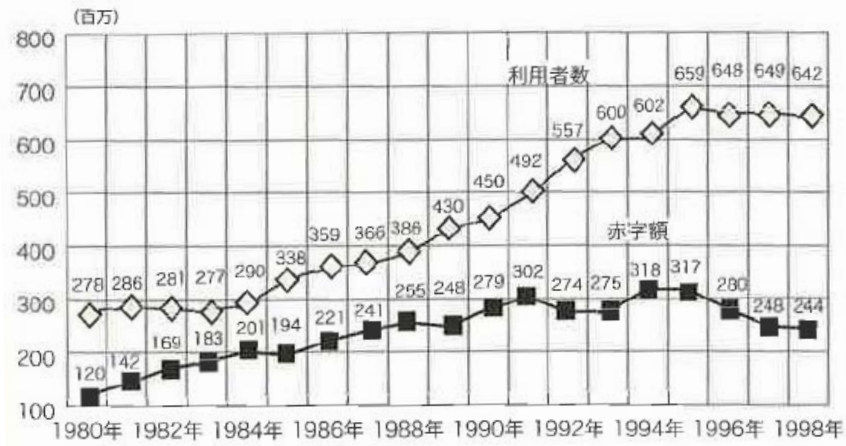


図 フライブルクの公共交通機関利用者数と赤字額の推移

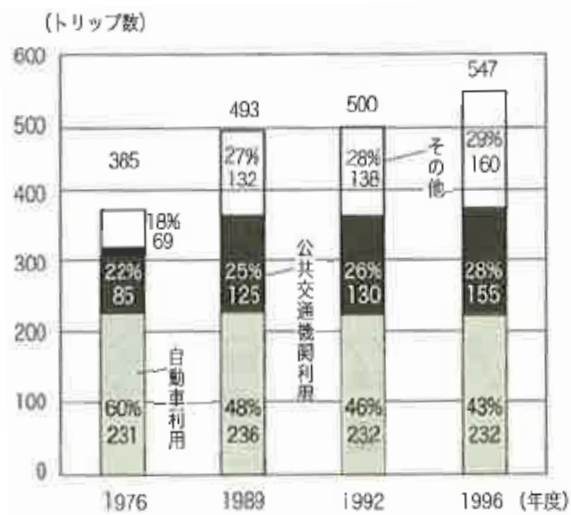


図 交通手段別トリップ数の推移

出典

西村幸格・服部重敬『都市と路面公共交通 欧米にみる交通政策と施設』  
(学芸出版社、2000年)